

### I 目的

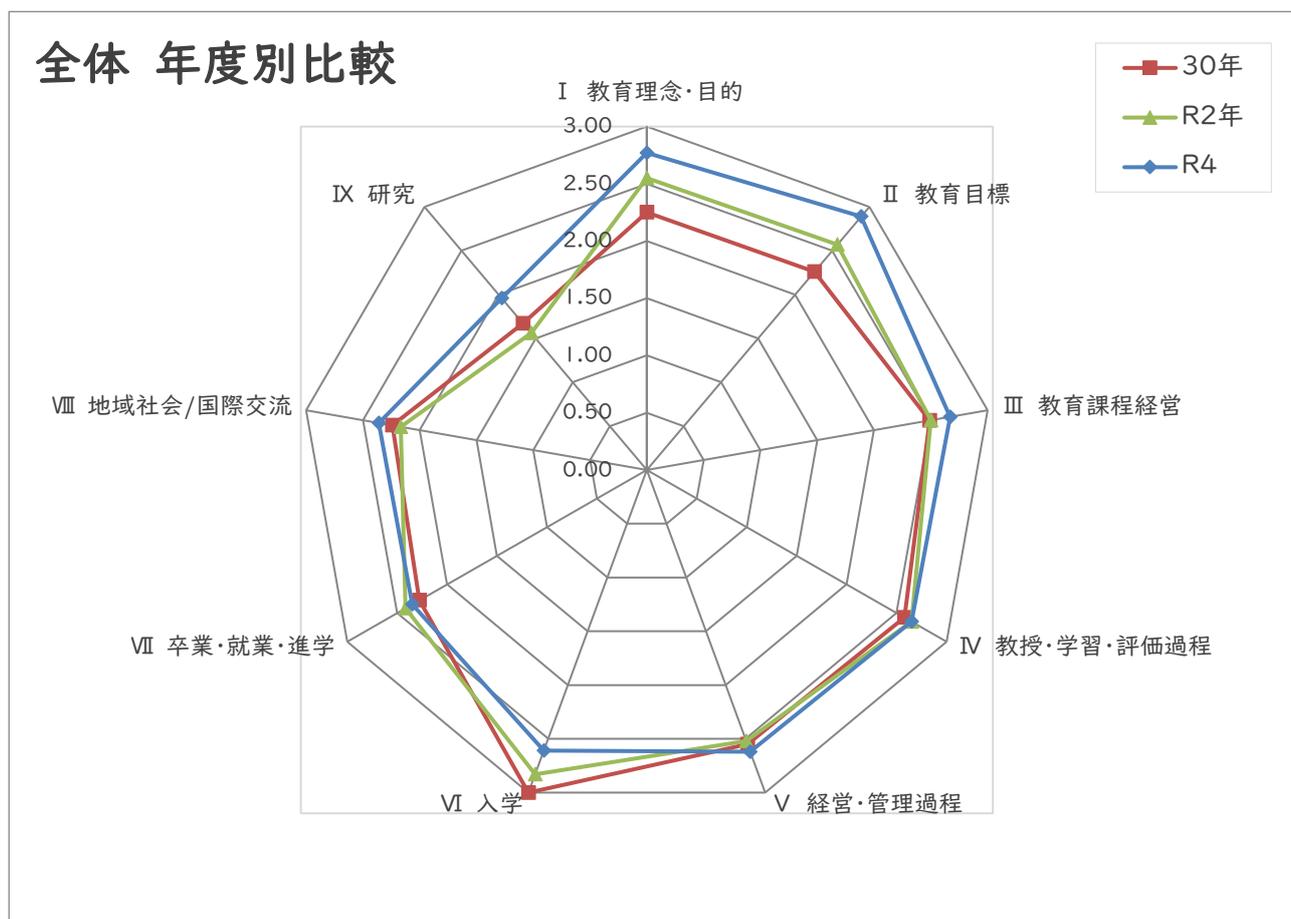
深川市立高等看護学院の教育理念・目的・目標に照らし、当学院の活動状況を把握するとともに、自らの教育活動を評価し、教育水準の維持、向上及び創意工夫のある教育の追及を図る。

### II 自己点検自己評価方法

- 1 評価対象：専任教員 9 名
- 2 調査時期：令和 5 年 2 月
- 3 調査内容：厚生労働省の指針である「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」に基づく評価（カテゴリー9 領域、125 項目）を用いて実施。
- 4 結果分析：3 段階の評価基準とし、「3 当てはまる」3 点、「2 やや当てはまらない」2 点、「1 当てはまらない」1 点とし、9 領域カテゴリーの平均点を算出。  
過去 3 年間の結果を比較し分析を行う。

### III 結果

#### 1) カテゴリー別平均点



	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX
	教育理念・目的	教育目標	教育課程 経営	教授・学 習・評価 過程	経営・管 理過程	入学	卒業・就 業・進学	地域社会 /国際交 流	研究
H 30 年	2. 25	2. 26	2. 49	2. 58	2. 55	3. 00	2. 28	2. 24	1. 67
R 2 年	2. 55	2. 57	2. 50	2. 65	2. 52	2. 83	2. 42	2. 17	1. 56
R 4 年	2. 77	2. 89	2. 67	2. 65	2. 62	2. 61	2. 35	2. 36	1. 96

＜Ⅰ教育理念・目的＞＜Ⅱ教育目標＞は改善され、全ての項目が前年度より上昇しており、全体的に0.2～0.3 上昇している。保健師助産師看護師法における看護師等看護師養成所の運営に関する指導ガイドラインの改正（カリキュラム改正）に伴い、教育理念・目的、教育目標の整合性等を十分検討した結果と言える。＜Ⅲ教育課程経営＞についても0.17 上昇しており同様のことがいえるが、「教員の教育・研究活動の充実」「学生の看護実践体験の保証」の Kategorii の評価としては、低評価となった項目がある。カリキュラム改正や新型コロナウイルス感染症の対応で業務過多となったことも要因ではあるが、改善していく必要がある。

＜Ⅴ経営・管理課程＞において、設備の整備として新校舎への移転は特筆すべき事柄である。今後の地域の状況や学生層の変化に合わせ、教育に必要な施設整備を行っていく。

＜Ⅵ入学＞は、前年度より低評価となった。年々受験生の減少が認められ、入学者の確保に重点が置かれている状況である。入学者の状況を分析し、教育効果の視点から検証を行い入学者選抜の考え方を検討することが必要である。

＜Ⅶ卒業・就業・進学＞では、卒業生の活動状況の把握や評価に関する項目が低評価である。卒業生に対する支援・現状把握や評価に対する仕組みを整える必要がある。

＜Ⅷ地域社会/国際交流＞では、新カリキュラム編成を検討する中で、地域のニーズや特徴を把握し科目構築や内容を吟味した結果と言える。

＜Ⅸ研究＞は依然として低評価であり、改善が必要である。

## 2) 9領域別の結果 別紙1

### Ⅵ 課題への今後の取り組み

1. 新カリキュラムに伴った教育計画を軌道に乗せるとともに、実習施設・関係機関との綿密な共同・連携により、地域に根ざした教育活動を目指す。
2. 広報活動の継続及び入学試験選抜内容の検討
3. 卒業生及び就業先と連携を図り、卒業後の活動状況の調査を実施し、精神的支援への活用方法を模索していく。
4. 教員の資質の向上に向け、日々の教育活動について情報交換し検討し合う機会を計画的に設定するとともに、研究活動に取り組めるよう業務調整を行う。